

《修士論文要旨》

近世中期頃から明治初期の 大阪における生産物と商品流通

吉 末 憲 和*

I. 研究の目的

室町時代に入り、灌漑や排水施設の整備・改善により、畿内では二毛作に加え三毛作も行われた。その際に肥料として、刈敷や草木灰などと共に下肥が広く利用され収穫の安定化が図られたのである。苧・桑・楮・漆・藍・茶などの栽培も盛んになり、これらが商品流通するようになった。近世に入り幕府や諸藩は、新田開発を積極的に行い全国の耕地は飛躍的に広がり、刈敷や草木灰、下肥などのほか、干鰯・メ粕・油粕などの金肥が広く利用され、近世中期前後頃からより活発に商品作物栽培が発達した。

公家の町「京都」、武家の町「江戸」、町人の町「大坂」といわれるように、大坂は町人の町・商人の町として西成郡・東成郡の一部に市街地が発展した。その付近一帯は、大坂近郊農村として、青物類などの商品作物生産が活発に行われた。また、「水の都」といわれるように大坂は水運の発達により物資の集散地として栄え、大坂には様々な市場が展開されていったのである。

本稿では、近世大坂の青物類と商品流通については、『撰津名所図会』・『五畿内志』・『毛吹草』を活用し、また、大阪府下の自治体史の商業的農業の部分で各市町村で生産された産物と商品流通に関する記述、資料を利用することによって明らかにする。『天満青物市場史料・上』に収録されている「難波村歎願書写 但、西御役所ニテ借受写シ候也 文化4 (1807) 年9月7日」と「難波村愁願ニ付対談行届、御請証文奉差上候。依之此方へ借受写候也 文化6 (1809) 年6月26日」の2史料を活用し、天満青物市場の独占が崩れていくことを分析していくこととする。

また、明治初期の大阪の生産物と商品流通に関しては、『大阪府地誌』を利用することにする。『大阪府地誌』を利用した先行研究は無い。現存する『大阪府地誌第16編交野郡』(壺・貳)・『大阪府地誌河内国第18編讃良郡』(貳)・『大阪府地誌撰津国第7編豊島郡』(八)・『大阪府地誌撰津国第8編能勢郡全』の5冊を分析することによって、生産物と商品流通が明らかになると考える。

II. 結論として

近世中期頃から明治初期にかけての生産物と商品流通を分析してきた。近世中期頃からの大阪で生産された産物と商品流通は、主に大阪府下の自治体史・『撰津名所図会』・『五畿内志』・『毛吹草』を活用し、そのなかでも大阪府下の自治体史の近世商業的農業を中心に活用した。明治初平成25年度 *文学研究科地理学専攻

期の生産物と商品流通は、現存する5冊の『大阪府地誌』に記録されている産出物と商品流通の項目を活用し分析した。

『摂津名所図会』・『五畿内志』・『毛吹草』には、大坂近郊で生産された有名な青物類が多数紹介されており、何処の郡の何処の村で生産されていたということが明らかになった。しかし、天満青物市場へどのようにして運んでいたのかという詳細な商品流通に関しては記載されていなかったが、当時の輸送手段として肥舟を利用し、往路に青物類を積み、復路に大坂市中の下肥を運ぶのが一般的な商品流通の形態であったと考える。

当時、天満青物市場が青物類の売買を一括独占しており、村で生産された青物類は、必ず天満青物市場へ持っていかねばならなかった。しかし、篠山十兵衛景義の尽力で、大根・菜類・なす・ねぶか・人参・冬瓜・白瓜・南瓜・西瓜・若ごぼう・わけぎ・芋類・かぶらの13品目が一荷としては不足した場合、その半分を百姓市として天満青物市場外でも自由に売買できるようになった。明治時代に入ってから、天満青物市場の一括独占という縛りが無くなり、村で生産された産物は自由に売買できるようになった。

大阪府下の自治体史には、近世の商業的農業に関する記述が無いものがあり、大阪府下すべての市町村の記述を見ることはできなかった。しかし、そこに収録された各市町村の村明細帳や文書には、その村で生産された穀類や青物類などが細かく記されていることがわかった。商品流通に関しては、詳しく記述されている自治体史もあれば、簡略に記述してあるものや、一切記述されていないものもあった。商品流通の簡略な記述や一切記述されていない自治体に関しては、筆者の推定を加え、その市域を流れる河川などを利用し生産物を運んでいたということを論じた。

明治初期の生産物と商品流通は、現存する5冊の『大阪府地誌』の物産項目から分析した。交野郡・讃良郡・豊島郡・能勢郡の4郡の村からどのような産物が生産され、どの方面へ流通させていたのかということが詳しく記載されていた。流通経路は記載されていなかったが、各郡を代表する河川（例として、交野郡なら淀川と天野川）の水運を利用して大消費地に向けて出荷されていたのであろう。能勢郡には、代表的な大川が無いので、陸上運送であったであろうと考えられる。